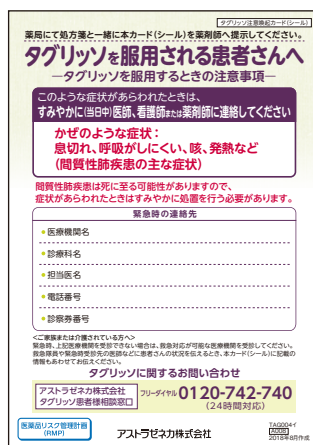


タグリッソ注意喚起カード(シール・マグネット)について

毎回お薬を受け取る際は タグリッソ注意喚起カード(シール)*を 薬局で提示してください

※はがしておくすり手帳などに貼ることもできます。

- 注意喚起カード(シール)は薬局にて処方箋と一緒に薬剤師に提示してください。
- 注意喚起カード(シール・マグネット)には、タグリッソを服用するときの注意事項や緊急時の連絡先が記載されています。
- 外出するときは注意喚起カード(シール)を必ず携帯しましょう。
- 紛失または担当医が代わったときや別の医療機関を受診するときは、新しい注意喚起カード(シール)を医師から受け取ってください。
- 注意喚起カード(マグネット)は冷蔵庫など普段から目にしやすい場所に貼って、日頃の体調管理に気を付けてください。



タグリッソ注意喚起カード
(シール・マグネット)

アストラゼネカ株式会社
大阪市北区大深町3番1号

TAG039@A
2024年6月作成

タグリッソと化学療法の 併用治療を受けられる 患者さんにご家族へ

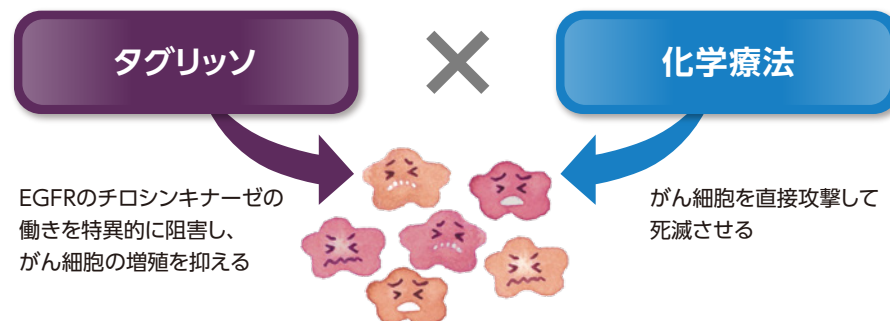
監修：国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 副院長・呼吸器内科長
大江 裕一郎 先生

タグリッソを服用する目的

- このお薬は、手術ができないまたは再発しているときの治療として、がんを縮小させたり、がん細胞の増殖を抑制し、がんの進行を抑えるために服用します。

タグリッソと化学療法(細胞傷害性抗がん薬) の併用治療について

- タグリッソの治療には、タグリッソのみを服用する単剤治療と、タグリッソの服用と化学療法の点滴投与を併用する併用治療があります。
- 併用治療では、作用機序が異なるタグリッソと化学療法を組み合わせることで、単独で治療する場合よりも幅広い抗がん作用をもたらし、がんの進行をさらに遅らせることが期待されます。



AstraZeneca

タグリッソの服用方法と併用治療のスケジュール

タグリッソの服用方法

1日1回、忘れずに!!

**このお薬は、
必ず医師または薬剤師の指示どおりに
服用してください**

- 1日1回、決められた量をコップ1杯の水またはぬるま湯と一緒に服用してください。
- ご自身の判断で、飲む量や飲む回数を変更しないでください。
- 毎日時間を決めて、忘れずに飲むようにしましょう。
- このお薬は、毎日つづけて飲むことが大切です。医師または薬剤師の指示なしに、途中で飲むのをやめたりしないでください。

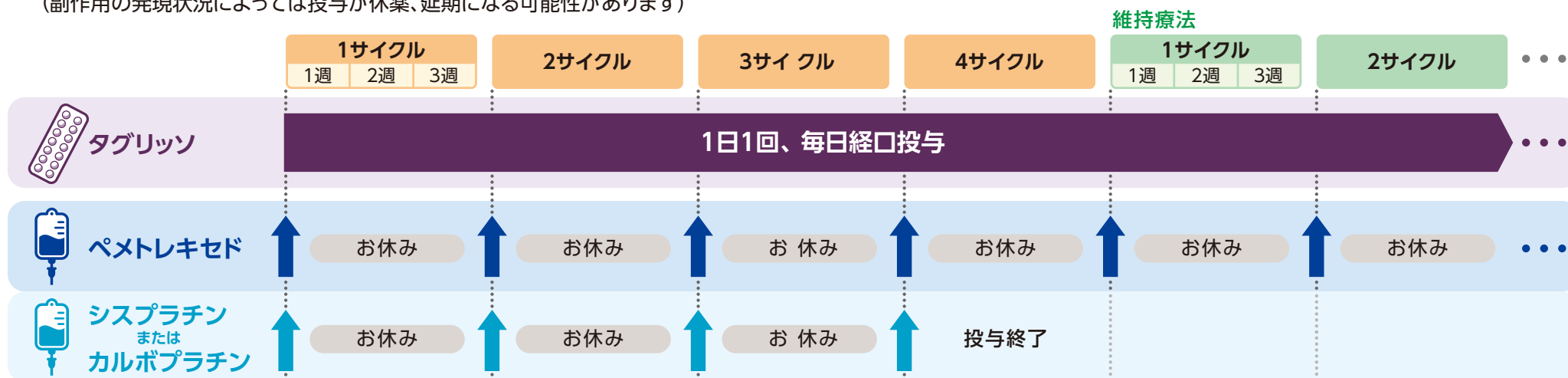


併用治療のスケジュール

タグリッソ、ペメトレキセド、シスプラチンまたはカルボプラチンを併用

- タグリッソ：1日1回、毎日経口投与
- ペメトレキセド：3週間に1回点滴投与
- シスプラチンまたはカルボプラチン：3週間に1回、4サイクル*まで点滴投与

(副作用の発現状況によっては投与が休薬、延期になる可能性があります)



※3週間(21日間)を1サイクルとします。

タグリッソの治療でみられる主な副作用

間質性肺疾患

このような症状があらわれたときは、すみやかに(当日中)医師、看護師または薬剤師に連絡してください

かぜのような症状：
息切れ、呼吸がしにくい、咳、発熱 など



⚠ 間質性肺疾患の可能性あります

- 致死的な経過をたどる場合があります。
- この副作用のあらわれかたはさまざまです。服用中は定期的に診察を受け、また、症状の変化などがあらわれた場合は、すみやかに(当日中)医療機関を受診してください。
- とくに治療初期は入院またはそれに準ずる管理の下で、重篤な副作用の発現を十分に注意する必要があります。

この副作用を早期に発見するために…

- 定期的に肺の変化をみるために胸部X線検査やCT検査などを行う必要があります。

間質性肺疾患とは

空気を取り込む器官である肺胞の壁や周辺に炎症を起こす疾患です。この病態になると血液に酸素が取り込めず、動脈血液中の酸素が減少した状態となり呼吸が苦しくなります。医薬品によっても起こることが知られています。

QT間隔延長

心電図検査で見つかる異常で、軽い場合は症状はみられません。

主な症状

動悸、めまい、ふらつき、気を失う など



動悸



めまい

うっ血性心不全、左室駆出率低下

主な症状

動くと息苦しい、足がむくむ、急に体重が増えた、咳とピンク色の痰が出る、疲れやすい、手足が冷たい など



動くと息苦しい



足がむくむ

これらの副作用を早期に発見するために…

- 追加の検査が必要な場合もありますので、これらの症状がみられた場合には、すみやかに医療機関を受診してください。

タグリッソの治療でみられる主な副作用

血小板減少、好中球減少、白血球減少、貧血

主な症状

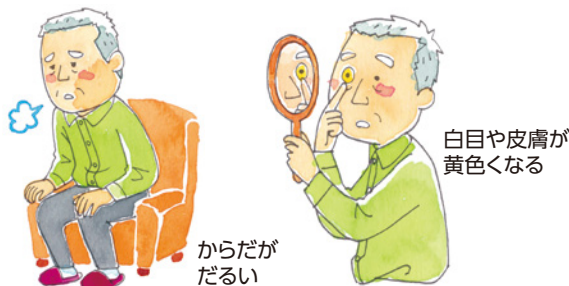
鼻血、歯ぐきの出血、
あおアザができる、
発熱、のどの痛み、
からだがだるい、めまい、
階段や坂を上るときの
動悸や息切れ



肝機能障害

主な症状

からだがだるい、
白目や皮膚が黄色くなる、
尿が黄色い、
吐き気、嘔吐、食欲不振、
かゆみ



- これらの副作用を早期に発見するために、定期的に血液検査および肝機能検査を行う必要があります。

中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑

主な症状

皮膚の広い範囲が赤くなる、
水ぶくれや皮膚のはがれ、
高熱(38℃以上)、唇がただれる・赤くなる、
まぶたの腫れ・目が開けづらい、目の充血、
目やに(眼分泌物)、のどの痛み

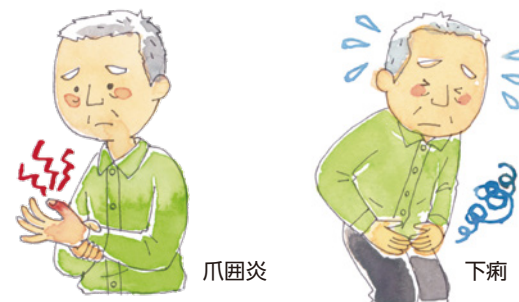


- これらの症状がみられた場合には、すみやかに医療機関を受診してください。

その他の主な副作用

頻度が高いもの(10%以上)

発疹・ざ瘡など、
皮膚乾燥・湿疹など、
爪の障害
(爪囲炎：爪のまわりの腫れ、
痛みなどを含む)、
そう痒症、下痢、口内炎



- これらの症状がみられた場合およびここに記載されていなくても、気になる症状があらわれたときは、すぐに医師、看護師または薬剤師に連絡してください。

タグリッソと化学療法の併用治療の 臨床試験でみられた主な副作用※

タグリッソの治療でみられる主な副作用と同じものが多いため、副作用の主な症状については4～7ページを参考にしてください。

頻度が高いもの(10%以上)

血液 貧血、好中球減少、血小板減少、白血球減少

消化器 下痢、口内炎

皮膚 爪囲炎(爪のまわりの腫れ、痛みなど)、発疹、皮膚乾燥、ざ瘡様皮膚炎

肝臓 肝機能障害
(アラニンアミノトランスフェラーゼ増加、
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加)

※タグリッソによる副作用と報告されたもの